

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2010年5月16日現在

概況 アイダホ州の2010年5月16日に終わる1週間の気象概況は、各地で多少降雨を伴い温度差の激しい気象であった。N地区の最高気温は78~84(Lewiston)Fとなり、平均気温は平年を1~3度F上回った。1週間の降水量は0.06~0.33インチと少なかった。SW地区では最高気温は80~87度Fであったが、最低気温が低く平均気温は平年を2~3度F下回った。1週間の降水量は0.14~0.43インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.6日(前週:5.1日)であった。Topsoilの土壌水分は前週より“Short”と“Surplus”が増え“Adequate”が減少した。冬小麦の43%が節間成長期となり、2%が穂孕み期となった。冬小麦の生育は低温の為昨年より遅れていた。冬小麦の作柄は前週から変化は無かった。春小麦の播種は昨年並みの進捗であり、全州の92%(昨年:92%、5年平均:91%)にて完了したが、出芽は低温で遅れ気味であり全州平均では63%(昨年:65%、5年平均:66%)の出芽であった。地区的に見るとN地区では播種圃場の75%が出芽した。春小麦の作柄は84%が“Good”以上であった。2010年5月11日付けUSDAの冬小麦の生産量予想では、アイダホ州の2010年産冬小麦の単位収量は、昨年より4 bushels多く85.0 bu/acreであり、収穫予想面積も昨年より増える予想の為、収穫量予想は昨年比110.9%の62,900,000 bushelsであった。

土壌水分(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	15	71	14
	Last week	0	13	76	10

冬小麦の生育状況(*)

(%)	Jointed	Booted	Headed
This week	43	2	NA

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	9	78	13
Last week	0	0	9	76	15

春小麦の生育状況(*)

(%)		North	Southwest	South-Central	East	State Ave.
Planted	2010	91	100	100	90	92
	Last year	86	100	100	88	92
	Ave.	93	100	100	87	91
Emerged	2010	75	99	92	52	63
	Last year	23	100	90	62	65
	Ave.	48	97	95	61	66

*) Source: National Agricultural Statistics Service, USDA-Idaho Field Office. Ave. means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。

2010年5月11日付け USDA 冬小麦生産予想

Crop	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/ac		Production 1,000 bushels		
	2009	2010	2009	2010	2008	2009	2010
Idaho	700	740	81.0	85.0	60,000	56,700	62,900
USA	34,485	31,786	44.2	45.9	1,867,333	1,522,718	1,458,350

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。